

航空機災害を想定し合同訓練

もしも、航空機が……。山武郡内6町村（横芝・成東・芝山・山武・松尾・蓮沼）による、「航空機災害に伴う合同訓練」が3月10日、成東町役場駐車場を会場に行われ、当町からも消防団幹部をはじめ消防車両（東町）が参加しました。訓練は、「エンジントラブルによりジャンボ機が緊急着陸し炎上、多数の負傷者が出ている」という想定で行われ、消防車や機材車など21台が集結。負傷者の救助・搬送、一斉放水や化学泡消火放水など実戦さながらの訓練が繰り広げられました。



サケの稚魚放流

—川の浄化を願い14万8千尾—

春の風物詩として、また、栗山川浄化のシンボルの事業となっている、サケの稚魚の放流が3月7日行われました。

今年は、近隣の学校にもサケの飼育と放流を呼び掛け、26校の子どもたちに稚魚を育ててもらいました。この日、会場となった光クリーンパーク脇の親水公園には15校、約400人の児童生徒が集合。手に手にバケツを持った子どもたちは、自分たちが育てた稚魚をいとおしそうに栗山川へ送り出しました。

帰ってくるサケのためにも、きれいな栗山川にしたいですね。



栗山川の自然を考える

「川に親しみ、川と生きる」栗山川シンポジウム（横芝・光町共催）が3月17日、町文化会館で開催され、地域のみなさん200人が参加しました。

第6回を数える今回は、「川と環境」と題した基調講演や改修事業に伴う橋の架け替え工事の現況説明などが行われ、身近な川「栗山川」の在り方・自然について、みんなで考えました。



演題 「川と環境」
講師 千葉工業大学教授
高橋 源 先生